

キッズみんなの日記

12月



よいしゃしんが、とれま
した。とても、たいへんだ
ったけど、とても、たのし
かったです。
(小一・IVさん)

七五三は、本来、Yちゃんの成長を祝う日
ですが、着物やドレスで着飾って、女の子にと
て、お姫様になれる夢のような一日ですよ。
着物の着心地や、ドレスのかわいらしさを上手
に表現しています♪



関東地方の寒さも増し、本格的な冬の到来を感じるとい
この頃。早いもので、今年も、残りわずかとなりました。
冬休みを目前に控え、クリスマスやお正月、帰省や旅行と
小学生のみなさんにとっては、胸躍る季節ですね。日記の
題材にも事欠きません。
高学年のみなさんは、日本や世界で起きている出来事、
ニュースにも目を向け、日記の題材にしてみましょ。悲
しいことに、理解に苦しむような、残忍な事件もあります
が、日本人として大変うれしいニュースもたくさんありま
す。
例えば、日本の宇宙開発は、決して金銭的に恵まれてい
るわけではありませんが、技術面で力入りし、他国が成し
えないことを成功させました。「はやぶさ」に次ぐ、「はや
ぶさ2」の打ち上げ成功です。無事、地球に帰って来てほ
しいですね。
また、スポーツの世界では、怪我から見事復帰した、
羽生選手の頑張りや、レジェンド裏西選手の金メダル、錦
織選手の活躍など、世界が注目する日本の選手が沢山いま
す。同じ日本人として、誇らしいと思うと同時に、私達も
日々、精一杯できる努力をして、新たな年を迎えたいです
ね。

優秀作品紹介

★日常の「コマ」を生き生きと

七五三

わたしは、十月十九日に
七五三の写真をとりました。

おねえちゃんも、わたしも、ドレス
ときものをきました。

きものは、おなががくるしかかったで
す。ドレスは、りぼんがたくさんつい
ていてかわいかったです。



大きな口を開けて、一生懸命歌うR君の姿
が目につかびます。「理由」+「気持ち」の形で、
褒められたうれしさを生き生きと表現してい
ます！同じ三年生に、印象に残る歌があつた
ことも、上手に感想を書いています。



なわとびの二重とび
(小三・TR君)

今日、音楽はつびようかいがありま
した。ぼくは、「ゆめをかなえてドラえ
もん」を歌いました。二番目までうた
ったので、口がつかれました。でも、
先生から百点と言われて、
うれしかったです。
一番いんしょうにのこっているのは、
三年生の「ぼよん行進曲」です。す
ごいな、と思いました。



音楽はつびようかい

昨日と今年の自分を比較して、その成長を
上手に説明していますね。お友達のあゆみち
んが、懸命に練習している姿に、Nちゃんも
「負けてはいられない。」と、今後の目標で上手
にしくくっています。お見事！



めいわくかけてすみません
今日、夜に半紙がないことに気が
付きました。そして、お母さんに話
したら、
「前、マミーマートに行ったとき、ノ
ートとか買わないでだいじょう
ぶって言ったじゃないの。」
と、言われてしまいました。
ほんとうに、めいわくをかけたこと
はんせいしています。なぜなら、その
後、お母さんが半紙を買いに行っ
たからです。

はやぶさというむずかしいものをやっ
ていました。あゆみちゃんは、
「また、しっぱいした。」
と言っていました。あゆみちゃんは、
何回も何回もれんしゅうしてとべるよ
うになりました。あゆみちゃんは、す
ごくよろこんでいました。
楽しかったです。でも、
あゆみちゃんにまけてもらえません。
(小三・MNさん)



誰でも、一度はK君のような、経験をした
ことがあるのではないだろうか。日常のあり
ふれた「コマ」を上手に切り取り、生き生きと
表現しています。きちんと反省できたK君は、
立派ですね。

持久走の練習

(小四・TK君)

今日、持久走の練習があった。タ
イムで順番を決めるから、タイムを計
った。きよりは、千二百メートルで、
赤の女子、赤の男子、白の女子、白の
男子の順番だった。そして、白の男子
の番がきた。
「ドン」の合図で走った。予想以上
につらかった。ぼくは、三十六人中、
四位だった。でも、
個人的には、がんばった。
本番は、二位と三位くらい
をねらいたい。
(小四・SK君)



短い文をつなぐことで、緊張感やスピード感
を上手に表現していますね。持久走は、みんな
が「つらい」と思うときに、どれだけががんばれる
かが勝負ですよ。四位は立派です！でも、
本番は、是非、一位を目指してがんばってね！

土曜参観

今日は、土曜参観がありました。三
時間目と四時間目と五時間目にたくさ
んのお母さんたちが来ました。でも、
私のお母さんは、仕事の都合で来られ
ませんでした。

三時間目は、国語の「雪わたり」の
発表をしました。四時間目は、総合で、
ろうかにはってある絵をしつかりと覚
えて、班で協力して、どんどん書いて
いくことをしました。とっても大変だ
ったけど、きれいにか
けたことが、とても
うれしかったです。



五時間目は、体育館
で音楽発表会をしまし
た。たくさんのお母さ

んたちがいて、すごくドキドキしながら歌いました。とってもきん張したけれど、無事に終わってよかったです。

(小五・Yさん)

お母さんが仕事で来られなくても、Yちゃんも真剣に、精一杯何事にも取り組むYちゃんの姿が印象的な日記です。えらかったね。

遠い楽しみ

今日、ホワイトスクール(スキースクール)の説明会がありました。

とまる部屋は、和室でとても楽しみになりました。しかも、スキーを二泊三日で毎日やるので、これも楽しみです。



そして、スキーをやるのは、新潟県で、初めて行くので友達とおそろいのストラップを買いたいです。

(小五・IS君)

友達との二泊三日のスキースクール。宿泊先やスキー三昧の日々を想像するS君から、ワクワクする気持ちがよく伝わってきます。冬休みが楽しみですね。

音楽祭

今日、校内音楽祭がありました。内容は、学年ごとに合奏や合唱を発表するといふものです。

私達五年生は、一曲目「南風」の二曲目「マンボナンバーファイブ」を歌いました。両方とも十月くらいから練習していて、うまくできたけど、やっぱり本番になるときんちょうして、友達と、「やっぱり、きんちょうするね。」

と言いながら、自分たちの番を待っていました。

ステージに上がった時、みんなこっちを見ていて、失敗したらどうしようと思ったけど、二曲ともうまく歌えました。

他の学年の発表で、すごいなと思ったのは、やっぱり最高学年の六年生です。「天空の城ラピュタ」の「君をのせて」は、すごくはくりよくあって、さすがだなと思いました。

来年は、六年生になるので、少し心配だけど、練習の成果を発揮できたので、よかったです。

(小五・ARさん)

Rちゃんの胸の鼓動が聞こえてきそうですね。自分たちの歌の感想に加えて、高学年に対する尊敬、感心を上手に表現しています。頑張りましたね!

新しいコーチ

私は今日、新体操に行きました。家の都合で三回くらい休んでいたのですが、とても久しぶりでした。

コーチは、先週から変わったらしく、女子大生くらいで、若く見えました。前のコーチとはちがうなと思いました。前のコーチは三十代くらいで、たまに何をいつているかわからないことがあるからです。

今回やったことは、二月の発表会に向けて全員がどれくらいできるかの確認と、発表会の曲を決めました。

まずは、発表会演技の一部をやりました。手具はフープでした。演技の中に、一度も成功していない、「肩ころが

し」という、フープをどちらの肩からその反対の肩にかけてころがしていく技が入っていたので、それをたくさん練習しました。全員で一緒に練習すると、四方八方にフープがとんでいってしまっ、あぶなかったです。

その頃、私はみんなと同じ練習をしていました。右から左に転がしたとき、キャッチミスをしてしまい、ころころとフープが転がってしまいました。早くとらなきゃ、と思い、追いかけていたら、トイレに入ってしまった。しかし、フープはそのまま、何かに吸い寄せられるように個室に入っていました。あ、うそでしょ、と思っ、とてもはずかしかったです。

新しい先生の初めてのレッスンで、はじを聞いてしまいましたけれど、年も近いと思うので、これからは楽しみます。

(小六・YMさん)

フーリングをユーモラスに表現しています。また、若い、新しい先生へのMちゃんの期待感が伝わってくる、活き活きとした文章に仕上がっています。これからも、新体操頑張ってくださいね。

声かれちゃった!

朝起きてから下に行くけど、いつものようにぼくが、お母さんに、「おはよう。」

と言いました。「あれ?声、かかっている。」と感じて、もう一度しゃべってみると、やっぱり声がかかっていた。しかも、なんとその日は、「市内音楽会」の日でした。なんてことでしょう。今まで、せっかく練習したのが、全部水のあわとなってしまうました。でも、この声

なりに歌おうと思って学校に行きました。

学校から会場まで行くのにあまり、しゃべらずに行きました。友達が楽しくしゃべっているところを見ると、少しうらやましく感じました。

会場につくと、いろんな学校の生徒が来ていて、とてもびっくりしました。野球で知り合った人も十人くらいいて、会うことができました。

ぼくたちの学校の前の学校が終わりました。いよいよ、ぼくらの番です。ステージに立った時、すぐ感じたことがぼくたちを照らすライトが、すごくまぶしいことでした。でも、指揮者を見てみると、まぶしく感じませんでした。歌い始めて少したつたときに、すごく暑くなってきて、あせをかきました。歌い続けると、もう歌に集中して、何も考えていませんでした。歌い終わって、拍手がホールいっぱいひびいたときは、すごく気持ちが良かったです。来年もがんばりたいです。

(小六・AT君)

丁君が、お喋りを我慢する必要な姿や、舞台上上がった時の、歌に集中している姿が印象的な日記ですね。精一杯歌い切った満足感もよく伝わってきます。見習いたいテクニックが満載です!

感想は、Tto@kchdai.comまたは、編集担当

▼市津 shoko@kchdai.comまで、ご連絡ください。今年、最後の発行となります。皆様、良いお年をお迎えくださいませ。